

修士論文題目一覧

2025年度	作り物語『落窪物語』の話型分析——日本昔話研究の視座から——
	『源氏物語』の文付枝の研究
	水害を表す語彙の史的 research
	山縣五十雄の『英文学研究』に見る翻訳・翻案の試み
	自他の別による動詞連用形名詞の意味的特徴
2024年度	連歌寄合書の研究——季節に対する意識に着目して——
	大正後期の劇壇・文壇と横光利一——イプセン・戯曲ブーム・真理主義
	太宰治〈少女語り〉を読む—「若草」および「令女界」を中心に—
	『法華経音辯訛』の字音研究——『法華経山家本裏書』と対照させつつ——
	子どもの問題行動に対処する父親の方略—子ども版日本語日常会話コーパス (CEJC-Child) を用いて—
2023年度	『枕草子』の「雪」表現の研究 ——和漢文芸の受容と創造——
	『正治二年院初度百首』に向けられた慈円の意図—歌枕への考察を通して—
	『八重葎』女君の人物造型 ——『狭衣物語』との比較から——
	萩原朔太郎の詩の「音楽性」とその意義
	揺らぐ芸術家の〈眼〉——中期太宰治作品における自己定位の問題と変遷——
	キリシタン資料の二重子音表記に関する研究
	「朝ドラ」における夫婦間の呼称 ——関係性の変化に着目して——
2022年度	童女君の「一夜妊み」をめぐる諸問題——雄略紀元年三月条を読む
	『枕草子』 「ある所に何の君とかや」章段の再解釈
	中世歌人の新しい中国文学への摂取——「柳」のイメージを中心に——
	現代日本語「ところ」の用法体系化の試み——内容語から機能語まで——
2021年度	『源氏物語』宇治十帖論——都と宇治への引力を契機として——
	後期野上弥生子作品における家族観